

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成28年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第14回



◇平成28年9月27日(火) 9:00~11:20
◇参加者 石狩市立南線小学校 4年生
児童 38名 教諭 2名

【学習コース】 弁天丸茨戸川下流コース（茨戸川艇庫船着き場→志美運河→石狩河口橋付近 往復）

【学習行程】

時刻	学習内容		
	1班	2班	3班
9:00~9:05	集合・挨拶・伝達事項等		
9:05~9:45	弁天丸乗船	植物観察	川の仕組み学習
9:50~10:30	川の仕組み学習	弁天丸乗船	植物観察
11:35~11:15	植物観察	川の仕組み学習	弁天丸乗船
11:15~11:20	集合・挨拶・伝達事項等		

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
 - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習
- ◇植物観察
 - 川の近くに生息する植物を観察
 - 笹舟つくりと笹舟流し
- ◇川の仕組み（模型を使用）
 - 蛇行した川のある方
 - 洪水の防ぎ方（ショートカット・堤防・遊水地・ダム・排水機場）
- ◇石狩川の歴史
 - 洪水と洪水を防ぐための対策
 - 茨戸川の誕生と石狩放水路

【実施状況写真】



弁天丸を保管している艇庫



丁寧にメモをとっていました



川の深さは何メートルかな



ショートカットとは



落ち葉アートを行いました



芸術的な作品ができました